

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **古 都 の 森**

日付 平成17年1月24日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
 田園の中に位置し、関連施設として医院、介護老人保健施設等も隣接する。敷地は広く、広々とした環境の中にある。

居間や、台所・食堂は空間がゆったりと取られており落ち着いた雰囲気になっている。

職員は心のケアを大切にしたいとの思いから、入居者と接する時間を最大限作り出したいと考えている。
 そのために、事務的な仕事などは、記載内容や方法も検討しながら簡素化を図り必要最小限にとどめている。その時間を、入居者と接する時間にあてている。

職員の態度、言葉遣いも落ち着いていてゆったりとしている。気持ちを思いやり、決して無理強いをしていない。何をやるにしても、まず入居者が「楽しかった」、「よかった」と思えることを行っている。

管理者は責任と権限を委譲されており、職員は管理者の下、意見交換をしっかりと行いながら運営されている。

改善の余地があると思われる点
 買い物に行くにも自動車を使わなければならない不便さもあり、入居者は若干閉じこもりがちになっているようです。関連の施設に、介護老人保健施設やデイケアがあるので有効利用し、交流や身体機能維持を検討されたい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「人性は楽しく」をモットーに、家庭や地域との結びつきを重視して、ひとり一人の自立を支援し、笑顔と活気あふれる生活が送れることを目指している。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 心のケアを重視し、職員と接する時間を多く取れるようにして会話を十分行っている。また、入居者がやりたいことを尊重し、無理強いをしない。行事なども職員の押し付けにならないように気をつけている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 手編みや、ちぎり絵を職員に励まされながら行っている。居室に入れば出来るだけくつろいでもらうために、職員は必要最低限の見守りを心がけている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 入居者がやりたい事は何か。 介護記録やバイタルチェックなど事務的な作業を出来るだけ簡素化し、より多く入居者に接することで介護の質を上げようとしている。必要な事と、不必要な事を職員同士で話し合っ改善しながら時間を有効に使っている。			